

慶應から平成へ

平成道徳塾学徒募集

平成28年7月15日

縄文 JOMONあか데미い 山田 学まなぶ ©

www.jomaca.join-us.jp

当塾は、中期の主要目的として、TQ技術継承者、これを養成いたします。超長期の根本目的として、JOMONあか데미い幹部、これを養成いたします。

現代のためでなく、次代のための、新しい学問、すなはち、山田 学が開拓しつつある、健康平和な現実認識としての、道徳学・経営学・公会学・認識学・生理学・物理学・世界学、これを教授します。

道徳学を起点とするから、平成道徳塾です。

教授対象は15歳から30歳まで。性別、出身地・現住所・国籍、父母や本人の学校歴や職場歴、これらを問ひません。ただし、日本語のみにて教授します。

平成道徳塾の学徒となりたい者は、次の2本の日本語文章を、自由形式にて提出してください。(紙にて提出してください。)

「今までの自分史と人生の夢」

「JOMONあか데미いサイト記録内容への感想・質問・意見」

次の宛先へ簡易書留郵便または宅配便にて提出のこと。(参考資料同封も可。)

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川 1-13-14-307 山田 学 電話 045-319-0920

提出いただいた郵便物や宅配便物は、返却できません。

なほ、応募の形式において、JOMONあか데미い、ないしTQ事業協会、ないし山田 学の活動を、阻害する意図あり、と判断された場合、健康平和な現実認識、これを追究する立場において、対応させてもらひます。

当塾は、慶應時代にこそ開塾が必要であった、福澤諭吉先生の慶應義塾、そこから、平成時代にこそ開塾が必要な、山田 学による、平成道徳塾への、根本転換、なのです。

当塾は、世界情勢の本質的变化を踏へ、現代の教育体制・報道体制にて、非常識・異端とされるものごとのなかに、それらのなかに、次代においては、む

しる常識・正当とされるべきものごとも、多くある、と教授します。さういふ教授傾向を、事前に理解し、それであつても、応募者が応募者の両親との円満関係、これを保てるやう、あくまで応募者本人の責任において、努めてください。

応募者を学徒として採用する採用しないでなく、応募者全員に対し、応募者の人生が、JOMONあかでの考へる理想へ、少しづつでも接近するやう、可能な限りの教授をします。

ただし、TQ技術継承者として採用する者は、1名のみです。JOMONあかでみい幹部として採用する者は、少数名です。

教授とは、学徒に形成されつつある概念や規範、これを、山田 学が開拓しつつある概念や規範、それへ、無理なく無駄なく、接近させていくことです。その過程において、両者の概念や規範の、闘争もあり、結局は、調和をめざしていきます。この認識過程を、通信や面会や集会や合宿など、これらにより、いかに効率よく、推進するか。それも、平成道徳塾としての、研究課題です。新しいIT開発なども、必要でせう。

日本社会における、縄文時代からの、認識伝統がある。先達と学徒の、連綿がある。そこに、JOMONあかでみい学問運営部の、重要活動として、青少年への学問本質論教育、これを創造してまわります。

教授に対する謝礼金額はとくに定めません。JOMONあかでみいサイト(健康平和研究)画面内の「未来協同へ寄付金のお願ひ」、に対応していただき、応募者の本人・親族・友人の資金力にて、感謝の度合を表明する金額を、ご提示ください。なほ、面会や集会や合宿などにおいて、交通費や会場費や宿泊費など、実費を請求することはあります。

山田 学の学問は、それは、健康平和な現実認識として、無理なく無駄なく発達していく、柔軟な体系として、すでに、論理的に、整理されてゐます。情報が雑然としてゐる、現代にあり、次代への方向性を、示すものでせう。理想へ。若き諸君とともに歩ませう。学問の厳しさと悦びを味ひつつ。

欧米も超ゆる落ちつきありうるよ

やまどの声から健康平和へ